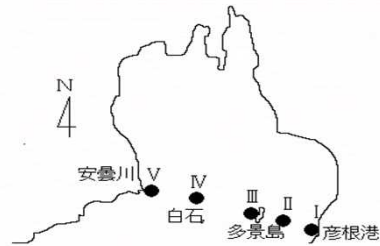


琵琶湖定点定期観測結果速報(令和5年12月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご注意ください。

調査年月日 令和5年12月11日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場地先における測定値)



調査地点図

調査結果

平均値 … 5地点の平均値

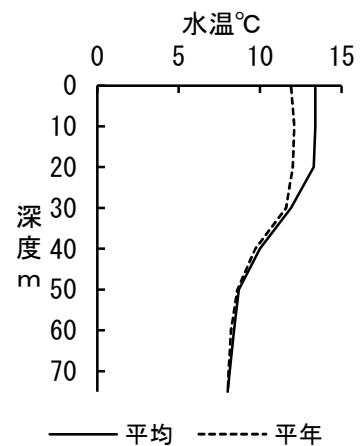
平年値 … 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値

DO(溶存酸素濃度)は2013年～2022年(平成25年～令和4年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 12月平均値 8.0m 平年値 7.3m

2. 湖水温 (°C)

深度(m)	12月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	13.4	11.9	+1.5
10	13.4	12.1	+1.3
20	13.3	12.0	+1.3
30	11.9	11.6	+0.3
40	10.0	9.7	+0.3
50	8.7	8.6	+0.1
60	8.4	8.2	+0.2
75	8.0	8.0	+0.0



3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
11月下旬	14.3	13.7	+0.6
12月上旬	12.8	12.2	+0.6
12月中旬	12.0	10.7	+1.3

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	12月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0~10	8.9	9.2	-0.3
10~20	3.9	3.6	+0.3
20~40	1.8	2.7	-0.9
40~75	0.4	0.8	-0.4

(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

○プランクトンネットNXX14による採集(植物:未固定 動物:5%中性ホルマリン固定)

植物プランクトンについては、全ての地点で*Fragilaria crotonensis*(オビケイソウ:珪藻)が細胞数で最も多く認められた。

動物プランクトンについては、地点1では*Daphnia galeata*(カブトミジンコ:枝角類)が、地点2~5ではCyclopidae(ケンミジンコ科:カイアシ類)のものと思われるコペポデイド期幼生が、それぞれ個体数で最も多く認められた。



Fragilaria crotonensis



Daphnia galeata



コペポデイド期幼生

6. DO (溶存酸素濃度 : mg/L) 多項目水質計による測定値。ただし平年値(参考値)はウインクラ法による測定値。

深度 (m)	12月平均値		平年値(参考値)		平年差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	10.3	98.8	10.2	98.1	0.1	(+0.7)
10	10.2	97.8	10.1	97.4	0.1	(+0.4)
20	10.1	97.1	10.0	96.4	0.1	(+0.7)
30	8.2	76.3	9.2	87.9	-1.0	(-11.6)
75	3.6	30.2	3.9	34.2	-0.3	(-4.0)